

(2) 短期的観点に基づく学校経営

令和3年度から3年間の重点事項	
1	新学習指導要領に則り、本校生の実態を踏まえた教育課程を編成・実施して、生徒の可能性を最大限に伸ばし、主体的・対話的で深い学びを通して、自立と社会参加に必要な力を培う。
2	社会情勢や企業等のニーズを把握し、関係機関との連携を密にしながら、生徒自らが就労による自立に向けた意欲を高揚させ、社会に貢献しようとする態度を育成する。
3	望ましい生活習慣を獲得して生徒自ら生活環境を整え、自他を尊重し、周囲と良好な人間関係を構築しようとする態度を育成する。

令和3年度学校経営

学校経営方針	
1	生徒全員の卒業後の就労をめざし、保護者や関係機関、地域と連携した教育実践を通して、生徒一人一人に応じた進路指導の充実を図る。
2	生徒一人一人の人権や障害の状態や特性に基づくきめ細やかな指導、卒業後に生きて働く知識・技能の習得につながる主体的・対話的で深い学びの指導を行う。
3	鹿児島東高校及び専門高校との連携を深め、生徒の安全衛生管理や人権に十分配慮しながら、生徒の主体性を促す交流活動及び共同学習を展開しインクルーシブ教育の充実に努める。
4	社会に開かれた学校経営をめざし、保護者や関係機関、地域と連携した取組を行う。

本年度重点事項	
学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新学習指導要領に基づき、生徒の実態と社会のニーズを考慮しつつ、卒業後の就労につながる指導内容の精選・改善を図り、職業自立・社会自立に必要な力を確実に身に付ける。 ○ 生徒の主体性、生徒同士の気付き・学び合いを促す授業改善を図るとともに、ICT活用など教材・教具の工夫・開発を行う。 ○ 観点別評価を行い、指導課題・目標を明確にし、指導法改善につなげる。
生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活や社会生活の基盤となる基本的生活習慣を確立するほか、規範意識の高揚を図り、思いやりや協調性を育てる。 ○ 職員同士の連携、他の学校や関係機関との連携を強化し、組織的・継続的な生徒指導を推進する。 ○ 生徒の考えや主体的活動が促される交流活動及び共同学習を推進し、更なる向上心や積極的態度を育てる。
キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ チャレンジノートを活用し、現場実習後の反省を的確に行い、生徒自らが就労に関する課題解決を図ろうとする意欲や態度を育成する。 ○ 企業面接や進路ガイダンス、進路先からの情報提供等を通して、生徒一人一人の卒業後の進路を決定する力を育てる。 ○ 卒業生の職場定着のためのアフターケアと同窓会活動の充実を図るとともに、生徒の能力・特性に応じた資格取得を促す。
心と体の教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な感染症対策を徹底し、安心安全な学習環境の確保に努める。 ○ 道徳教育の指導計画に基づき全教育活動を通して道徳性を育成する。 ○ 他の学校や関係機関と連携して、学年に応じた組織的・計画的な「生と性健康教育」を推進し、性的問題行動の未然防止に努めるとともに、生命と自他を尊重する調和のとれた人間性を養う。
センター的機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の可能性を高め、地域社会の期待に応える作業学習の在り方を探るとともに、他の特別支援学校と情報交換を深め指導法の向上に努めながら、企業への知的障害者雇用の更なる理解・啓発を図る。 ○ 高等学校の特別支援教育推進のためセンター的機能を発揮する。 ○ 学校HP、ブログを積極的に更新し、地域への最新の情報提供に努める。
職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒理解や指導力の向上を目指した研修を行う。 ○ 不祥事根絶強化月間の取組など、内容や方法を工夫した服務規律の厳正確保に関する研修を行う。 ○ 職員自身があいさつや服装等に配慮し、相互に協力する職場にする。